

授業科目	エッセー・ライティング				単位	2		
履 修	選択	関連資格	中一種免(英語) 高一種免(英語)		ナンバリング	EN31205J/ E		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP5-1 DP5-2			
担当教員	西原 真弓							
授業概要	<p>基本的にライティング基礎とパラグラフライティングの両方で「秀」を取った学生を対象とする。受講人数は30名までとし、申込過多の場合は上記条件とGPAで判断し、変更期間内に周知する。</p> <p>エッセイ(ひとつの話題について、まとまった量の文章)を英語で書けることを目的とする授業である。</p> <p>1)エッセイの基礎は「事実」と「意見」を分けて書き、「事実」を元に「意見」を述べることである。その「型」を教科書を用いて身につける。他者が書いたものを校正することができる視点が持てるようにする。</p> <p>2)アカデミックライティングのモデルを示し、分析しながら自分も書けるように練習する。</p> <p>3)最終提出課題として、自分で選んだトピックについて300単語以上でエッセイを書く。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. エッセイの構成を理解できる。 2. 指定されたテーマについてまとまった内容が書ける。 3. 他者の原稿を読んで、適切なコメントをするための視点が持てる。 4. 自分で決めた 5. テーマについて300ワード以上のエッセイが書ける。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	45		35	20	100	
知識・理解 (DP1-1)		0	10		15	5	30	
知識・理解 (DP1-2)			10		10		20	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)					5	5	10	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			10				10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)			10		5	5	20	
技能・表現 (DP5-2)			5			5	10	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
効果的な文章構成についてしっかりとした理解力を持っている。事実と意見の区別ができ、それらを総合して効果的な「締め」の言葉を作り出すことができる。論理的なエッセイが書ける。				基本的な英文を作成することができ、英語におけるパラグラフやエッセイの構成を理解している。その上で自身の意見を構築し、エッセイの形になっている。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション エッセイの重要な特徴について理解を深める			説明、講義		教科書購入を済ませ、ひとり目を通しておく。		45

2	タイトルの決定及び書き方について理解し、練習する	講義・演習	与えられた課題に取り組み、 テーマを考えておく	45
3	イントロダクションの役割について理解を深め、練習する	講義・演習	与えられた課題に取り組み、 テーマを考えておく	45
4	ボディの構造について理解を深め、練習する	講義・演習	与えられた課題に取り組み、 テーマについての資料収集を行う	45
5	コンクルージョンのまとめ方を理解し、練習する	講義・演習	与えられた課題に取り組み、 テーマについての資料収集を行う	45
6	ピアフィードバックを行い、修正を行い提出する	講義・演習、課題提出	与えられた課題に取り組み、 レポート書きに取り組む	45
7	リサーチペーパーの構造とイントロダクションについて理解する	講義・演習	与えられた課題に取り組み、 レポート書きに取り組む	45
8	アブストラクトの重要な特徴について理解し、書く練習をする	講義・演習	与えられた課題に取り組み、 レポート書きに取り組む	45
9	アブストラクトの First draft をつくる	講義・演習	与えられた課題に取り組み、 レポート書きに取り組む	45
10	ピアフィードバックを行い、修正を行いアブストラクトを提出する	講義・演習、課題提出	与えられた課題に取り組み、 レポート書きに取り組む	45
11	Opinion Essay を書く準備をする。色々な意見を収集し、自分の立場を決める。	講義・演習	与えられた課題に取り組み、 レポート書きに取り組む	45
12	内容をブレインストーミングで広げ、アウトラインをつくる。	講義・演習	与えられた課題に取り組み、 レポート書きに取り組む	45
13	Opinion Essay を書く。	講義・演習	与えられた課題に取り組み、 レポート書きに取り組む	45
14	ピアフィードバックを行い、修正を加えて校正を繰り返し、Final draft に完成していく	講義・演習	与えられた課題に取り組み、 レポート書きに取り組む	60
15	まとめ・レポート提出、授業アンケート	演習、レポート提出	最終レポートを仕上げ、授業アンケートに答える	45
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日本語での論理的な文章作成、パラグラフ構成の理解。 単文レベルでの、基本的英文構成。 等位接続詞、従属接続詞を用いた複文を書く力。 パラグラフライティングの知識。			
テキスト	『3-Point Academic Writing, Organization, Content, Language』Akiko Miyama 他（金星堂）			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	図書館で閲覧可能です。 英語アカデミック・ライティングの基礎 研究社 ISBN 978-4-327-42194-6			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業の要求水準が高いため、一定の英語力をつけた意欲のある学生に受講して欲しい。自分が書いたものを何度も読み返し、よりよいものに改善していけるよう粘り強く取り組んでほしい。 遅刻(授業開始後 30 分以内)2回で欠席1回とする。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	最終レポート 40% 最終のライティング課題を評価する。レポートにはコメントをつけて返却する。 レポート外の提出物 40% 授業で出されるライティングの課題を評価する。課題にはコメントをつけて返却する。 その他 20%は、他の人のエッセイにコメントをつけるピアフィードバックへの取り組み方や授業内での主体的な学習態度を評価する。 翻訳サイトや機械翻訳のアプリなどの使用は禁止します。違反した場合は課題の評価を減点する。			

